

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成25年7月25日(2013.7.25)

【公開番号】特開2013-116231(P2013-116231A)

【公開日】平成25年6月13日(2013.6.13)

【年通号数】公開・登録公報2013-030

【出願番号】特願2011-265225(P2011-265225)

【国際特許分類】

A 6 3 F 13/06 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 13/06

【手続補正書】

【提出日】平成25年6月3日(2013.6.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

一端面に開口部が形成された中空の筐体を有するとともにこの筐体内部にゲームプログラムへ所定の命令信号を入力可能な内部入力手段を備えたコントローラ本体と、前記コントローラ本体の内部に装填されているとともに軸線に沿う挿入孔が形成された柔軟部材とを有し、

前記柔軟部材は、前記挿入孔に長尺物が挿入されたとき、径方向外方へ膨脹し前記内部入力手段に接触ないし押動して前記命令信号を入力する、ゲーム用コントローラ。

【請求項 2】

前記内部入力手段は、軸線方向に沿って複数個配置されている、請求項 1 に記載のゲーム用コントローラ。

【請求項 3】

前記内部入力手段は、前記柔軟部材の膨脹を検知するレバー部を有しており、前記レバー部は、その基端部が固定されているとともに、その先端部が前記開口部側へ延出されて下方に折り曲げられている、請求項 1 または請求項 2 に記載のゲーム用コントローラ。

【請求項 4】

前記コントローラ本体は、前記筐体が上下に分割されてその後端部が開閉自在に連結されているとともに、前記開口部に嵌合されて前記筐体を閉状態に固定する固定リングを有している、請求項 1 から請求項 3 のいずれかに記載のゲーム用コントローラ。

【請求項 5】

前記コントローラ本体は、片手で把持し得る略円筒形状に形成されている、請求項 1 から請求項 4 のいずれかに記載のゲーム用コントローラ。

【請求項 6】

前記内部入力手段の左右位置には、前記内部入力手段の検知感度を調整する調整部材が配置されている、請求項 1 から請求項 5 のいずれかに記載のゲーム用コントローラ。

【請求項 7】

前記コントローラ本体は、前記筐体の外部にゲームプログラムへ所定の命令信号を入力可能な外部入力手段を備えている、請求項 1 から請求項 6 のいずれかに記載のゲーム用コントローラ。

【請求項 8】

前記内部入力手段の周囲には、前記筐体の開口部から前記内部入力手段に向けて先細りに形成された略V字形状のテーパ切欠部を有するとともに、膨脹する前記柔軟部材を前記内部入力手段の方向へ導くガイド部材が設けられている、請求項1から請求項7のいずれかに記載のゲーム用コントローラ。

【請求項9】

前記内部入力手段は、前記長尺物の先端が前記挿入孔の軸線方向における略中間位置まで挿入されたときに、前記命令信号を出力する、請求項1から請求項8のいずれかに記載のゲーム用コントローラ。

【請求項10】

前記柔軟部材の後端部には、前記筐体の後端部近傍の内面に設けられた後方係止鉤に係止する大きさのフランジ部が形成されている、請求項1から請求項9のいずれかに記載のゲーム用コントローラ。

【請求項11】

無線通信機能を備えたりモートコントローラとして構成されている、請求項1から請求項10のいずれかに記載のゲーム用コントローラ。

【請求項12】

請求項1から請求項11のいずれかに記載のゲーム用コントローラの前記内部入力手段から入力された命令信号に基づいて、コンピュータに所定の機能を実行させて表示手段に前記内部入力手段の押動動作に連動した出力画面を表示するゲームプログラム。